目次

目次 1
安全上のご注意 2
ご使用の前に必ずお読みください 2
「安全上のご注意」の絵表示 2
使用上のご注意 8
設置場所について 8
見る場所について 8
お手入れについて 8
廃棄について 8
ランプの寿命について 9
その他注意事項 9
安全上のご注意 10
使用上のご注意 11
眼の安全保護について 13
はじめに 14
製品の特徴 14
パッケージ内容 15
製品の概要 16
メインユニット 16
コントロールパネル 17
接続ポート 18
リモコン 19
インストール 20
プロジェクタを接続するには 20
プロジェクタの電源オン/オフ 21
プロジェクタの電源をオンにする 21
プロジェクタの電源をオフにする 22
警告インジケータ 22
投影された映像の調整 23
プロジェクタの高さを調整するには 23
プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する 24
画面サイズと投射距離の目安 24
ユーザーコントロール 25
コントロールパネル & リモートコントロール 25
オンスクリーン・ディスプレイメニュー 28
操作方法 28
メニューツリー 29
イメージ 30
ディスプレー 36
セットアップ 39
オプション 41
付録 41
トラブルシューティング 41
映像に関する問題 41
中断に関する問題 45
LEDに関する問題 46
リモートコントロールに関する問題 47
ランプの交換 48
互換モード 49
天井への取り付け 50
Optoma グローバル拠点 51

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例） 「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

安全上のご注意

注意 ⚠

禁止

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。
故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所

禁止

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

厳守

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。

厳守

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてしてください。

安全上のご注意

厳守	長時間に渡って映像をみる場合は一定の間隔で休憩をとってください。
禁止	排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
禁止	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。
厳守	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
厳守	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。 ガラスが散り、けがをする恐れがあります。
禁止	指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。
厳守	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
厳守	取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。（電池には＋極と－極があります。）故障の原因となります。
注意	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。 故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

安全上のご注意

警告 ⚠

厳守	煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。
水濡れ禁止	本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
厳守	本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。
禁止	本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
禁止	本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。 火災の原因となることがあります。
厳守	温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。
分解禁止	改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。 火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
禁止	本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。
禁止	ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
禁止	使用中はレンズをのぞかないでください。 レンズからは非常に強い光が発せらていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

安全上のご注意

禁止	リモコンのレーザー光を人の目にあてたりしないでください。目を痛める原因となりますので、絶対にのぞき込まないでください。本リモートコントロールにはクラスⅡレーザーが装備されています。
禁止	本製品は下記のようなところで使用しないでください。故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。 ● ほこりの多いところ ● 振動や衝撃の加わるところ ● 不安定なところ ● 通気孔（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるとこ ● 温度差の激しいところ ● 水分や湿気の多いところ ● 温度が高いところ
禁止	使用中や使用後は排気孔（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。やけどの原因になりますので、触らないでください。
厳守	ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。
禁止	ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。 ● 引っ張ったり、折り曲げたりしない ● 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない ● 加工しない ● 熱器具のそばで使わない
厳守	電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。
厳守	電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

安全上のご注意

禁止	電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。 ● 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。 ● 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。
厳守	電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。
禁止	+）（−）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
厳守	電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。
禁止	電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。 液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
厳守 注意 発火注意	電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。 ● 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください ● 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ● 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。 ● 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。
厳守	本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

使用上のご注意

設置場所について

本プロジェクターは200 wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高温になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

使用上のご注意

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約２，０００時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
  ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

	矢の付いた稲妻の形をした灰色の正三角形は、製品パッケージ内に絶縁していない感電の恐れがある「危険電圧」が存在することを警告するためのものです。
	正三角形に感嘆符のある記号は、製品の操作および保守点検（修理）に関する重要な指示を示します。

警告: 火災や感電の危険を軽減するため、本製品に雨や水気がかからないようにしてください。本製品内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。修理は必ず有資格者に依頼してください。

クラスB電波障害規制

このクラスB装置は、カナダ電波障害発生装置規則のすべての要件を満たしています。

安全に関する重要なご注意

1. ご使用の前に必ずお読みください。
2. いつでも見られるところに必ず保管してください。
3. すべての注意事項をお守りください。
4. 製造元の指示に従って設置してください。

   A. 排気孔を塞がないでください。

   本製品の安定した作動を確保し、オーバーヒートを避けるため、プロジェクタを適切な通気の妨害がない場所に置いてください。たとえば、ベッドやソファー、カーペットなど、排気孔が塞がれる可能性のある所には置かないでください。排気孔から空気が流れないような本棚やキャビネットなどの囲まれた場所に置かないでください。

   B. 本プロジェクタを水気の多い場所で使用しないでください。

   火災や感電の危険を軽減するため、本プロジェクタに雨や水気がかからないようにしてください。

   C. 熱を発生するラジエータ、ストーブ、その他の器具（アンプなど）といった熱器具の近くに設置しないでください。
5. 必ず乾いた布で拭いてください。
6. 製造元が指定した部品/付属品のみを使用してください。
7. 修理は必ず有資格者に依頼してください。次のようにプロジェクタが破損した場合は、修理が必要になります。
   - 電源コードのプラグなどが破損した。
   - 液が漏れたり、プロジェクタに物が入った。
   - プロジェクタに雨や水気がかかり、正常に動作しない。またはプロジェクタを落とした。

   プロジェクタをご自分で修理しないでください。カバーを開けたり、取り外したりすると、危険電圧やその他の危険が生じる恐れがあります。Optomaに最寄りの認定修理センターをお尋ねください。
8. プロジェクタに物や液体が入らないようにしてください。危険な電圧点に触れたり部品がショートすると、火災や感電の原因になります。
9. プロジェクタのケースに記載の安全に関する記号を確認してください。
10. プロジェクタの調整や修理は、必ず有資格者が行ってください。

使用上のご注意

本ユーザーズガイドに記載のすべての警告、注意および保守方法に従ってください。

■■ 警告- ランプ点灯中は、プロジェクタレンズをのぞかないでください。強力な光線により、視力障害が引き起こされる恐れがあります。

■■ 警告- 火災や感電の原因となるため、本製品を雨や湿気にさらさないようにしてください。

■■ 警告- 本製品のカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電する恐れがあります。

■■ 警告- ランプを交換する際は、本体の熱が冷めてから行い、取扱説明書に記載の指示に従ってください。48ページを参照してください。

■■ 警告- 本製品は、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。

■■ 警告- ランプモジュールを交換したら、画面表示の「オプション」>「ランプの設定」メニューで「ランプリセット」機能をリセットします。42ページを参照してください。

■■ 警告- プロジェクタの電源を切るときは、電源を切る前に冷却サイクルが完了していることを確認します。プロジェクタが冷えるまで90秒かかります。

■■ 警告- プロジェクタが動作中は、レンズキャップを使用しないでください。

■■ 警告- ランプの寿命が切れかかると、「ランプを交換してください」というメッセージが表示されます。お近くの販売店やサービスセンターに連絡し、すぐにランプを交換してください。

❖ ランプの寿命が近づくと、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタを使用できません。ランプを交換するには、48ページの"ランプの交換"の手順に従ってください。

使用上のご注意

推奨事項:

- お手入れをするときは、プロジェクタの電源を切ってください。
- ディスプレイ筐体は、中性洗剤で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項:

- 本体の通風用のスロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。

眼の安全保護について

- プロジェクタの光源に直接注視しないでください。
- プロジェクタの光源に向いて立たないでください。出来る限り、離れてください。
- ユーザーにレーザー光が当たらないようにするため、スティックやレーザーポインタの使用をお勧めします。
- ランプの必要電力を最小化するために、ルーム ブラインドを使って周辺光を遮ります。

製品の特徴

本製品は、WXGAシングルチップ0.65" DLP™プロジェクタです。以下の優れた機能が搭載されています：

- シングル16:9 1280 x 768 Dark Chip2™ DLP™技術
- デュアル解像度サポート:
  -16:10（1280 x 768）
  -720P HDTV機能用の16:9（1280 x 720）ネイティブ
- 7セグメントカラーホイールGRBWGRBサイクル採用
- 480i - NTSC/NTSC4.43
- 576i - PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM
- HDTV互換（480p、576p、720p、1080i）
- ディインタレーサFaroudja DCDi®
- フル機能のリモコン（バックライト付き）
- 高度な2Dデジタルキーストン補正および高品質フル画面画像リスケーリング
- ユーザーフレンドリーなコントローインタフェース
- SXGA+、SXGA圧縮およびHD、XGA、SVGA、VGAリサイジング
- Macintosh互換
- Optomaの特許出願中O_2Air™ Photo Catalyst空気浄化技術
- HDMI & DVIサポート（HDCP準拠）
- True VividおよびBrilliant Color™画像技術
- 16：10 / 16：9、完全な画像機能と統合:フォーマット、エッジマスク、デジタルイメージ シフト構造（垂直/水平）

パッケージ内容

本機には、以下のアイテムが含まれています。すべてのアイテムが揃っているかご確認ください。不足品がある場合には、ただちにお買い求めの販売店へご連絡ください。

レンズキャップ付き
プロジェクタ

1.8m 電源コード

Sビデオケーブル1.8m

1.8mコンポジット
ビデオケーブル

2.0m YPbPr用RCA
コンポーネントケーブル

1.8m RS232ケーブル

NOTE

- 国により、梱包されるアイテムが異なります。

IRリモコン

単三電池 x 2

資料:

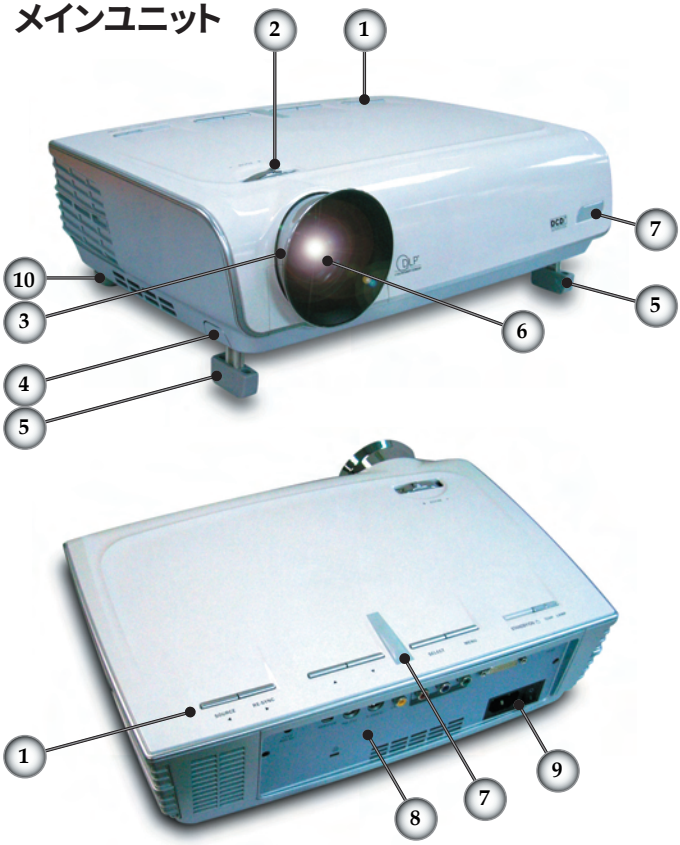
- ☑ ユーザマニュアル
- ☑ 保証カード
- ☑ クイックスタートカード

電源コードについて注意事項:

1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様（AC100V）になりますので、海外での使用できません。

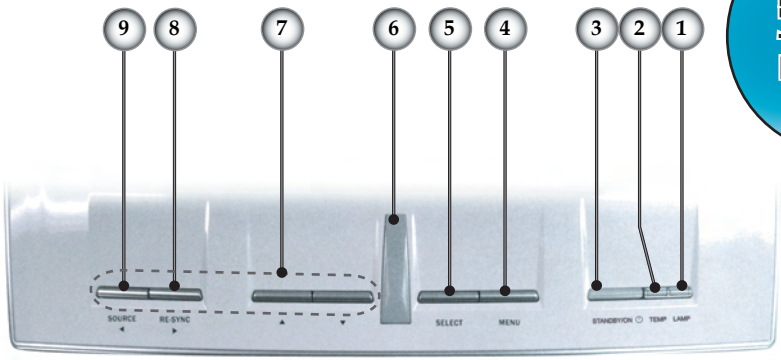
製品の概要

メインユニット



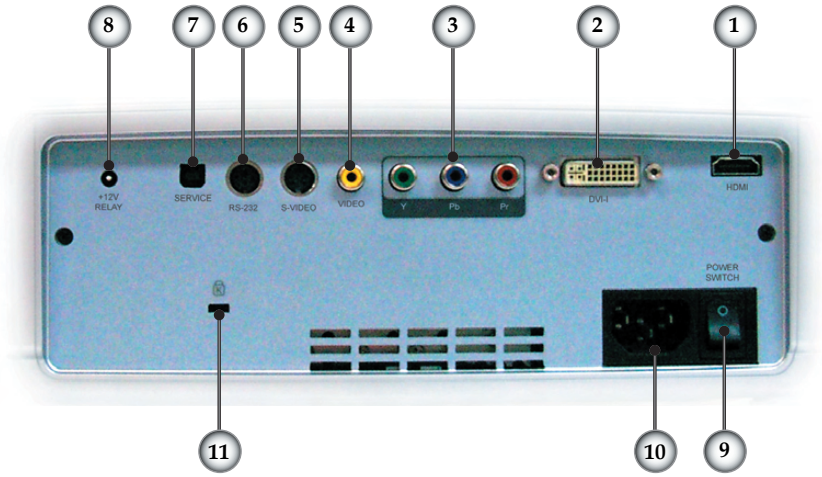
1. コントロールパネル
2. ズームレバー
3. フォーカスリング
4. エレベーターボタン（片側に1つ）
5. エレベーターフット
6. レンズ
7. IRレシーバー
8. 接続ポート
9. 電源ソケット & 電源スイッチ
10. 傾き調整フット

コントロールパネル



1. ランプ警告LED
2. 温度警告LED
3. スタンバイ/オンLED
4. メニュー位置（オン/オフ）
5. 選択（Enter）
6. IRレシーバ
7. 4方向選択キー
8. 再同期
9. ソース選択

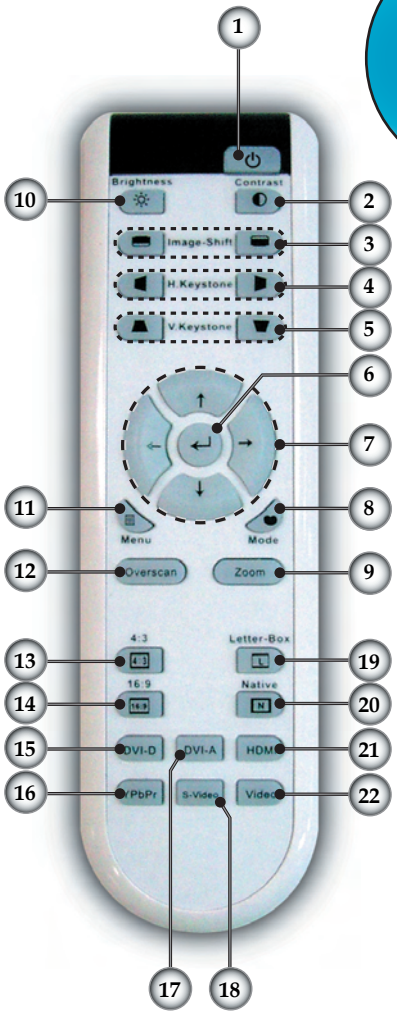
接続ポート



1. HDMIコネクタ
2. DVI-I入力コネクタ（PCデジタルおよびDVI-HDCP）
3. コンポーネントビデオ入力コネクタ
4. コンポジットビデオ入力コネクタ
5. Sビデオ入力コネクタ
6. RS232C入力コネクタ
7. サービスコネクタ
8. +12Vリレーコネクタ
9. 主電源スイッチ
10. 電源ソケット
11. Microsaver™ ロックポート

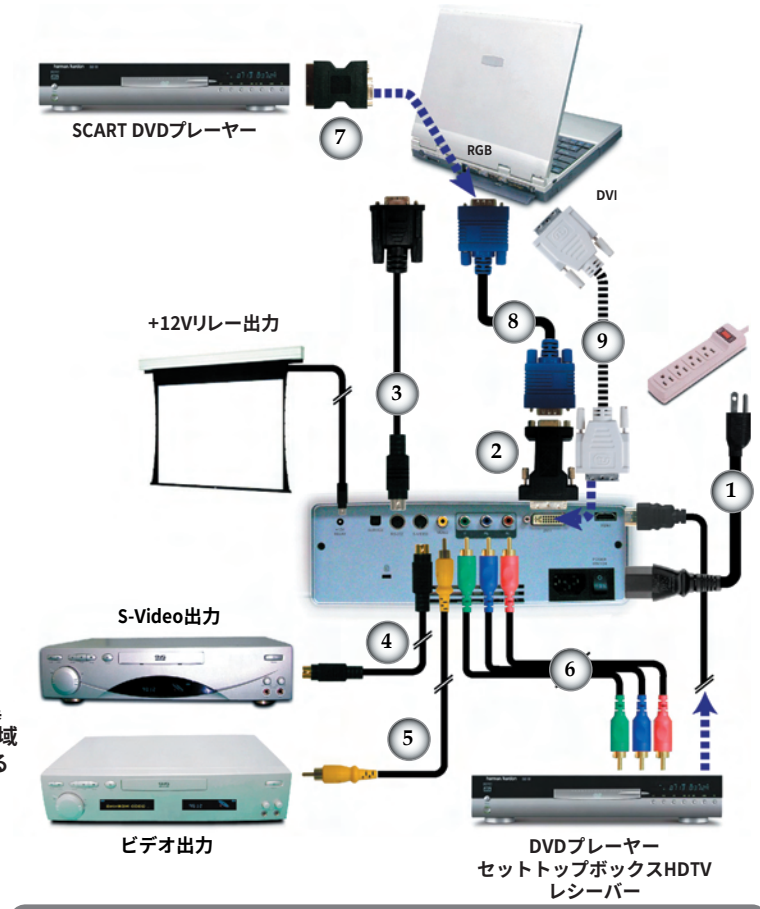
リモコン

1. 電源オン/オフ
2. コントラスト
3. イメージシフト
4. 水平キーストン
5. 垂直キーストン
6. 選択（Enter）
7. 4方向選択キー
8. 画面モード
9. ズーム
10. 明るさ
11. メニュー
12. エッジマスク
13. 4:3
14. 16:9
15. DVI-Dソース
16. YPbPrソース
17. DVI-Aソース
18. S-ビデオ
19. Letter-Box
20. Native
21. HDMIソース
22. コンポジットビデオソース



インストール

プロジェクタを接続するには



Note

国によって適用が異なるため、一部の地域では付属品が異なる場合があります。

1. ..... 電源コード
2. ..... DVI - VGAアダプタ（欧州のみ）
3. ..... RS232ケーブル
4. ..... S-Videoケーブル
5. ..... コンポジットビデオケーブル
6. ..... YPbPr用RCAコンポーネントケーブル
7. ..... SCART RGB/S-ビデオアダプタ（欧州のみ）
8. ..... VGAケーブル（欧州のみ）
9. ..... DVIケーブル（オプションのアクセサリ）

プロジェクタの電源オン/オフ

プロジェクタの電源をオンにする

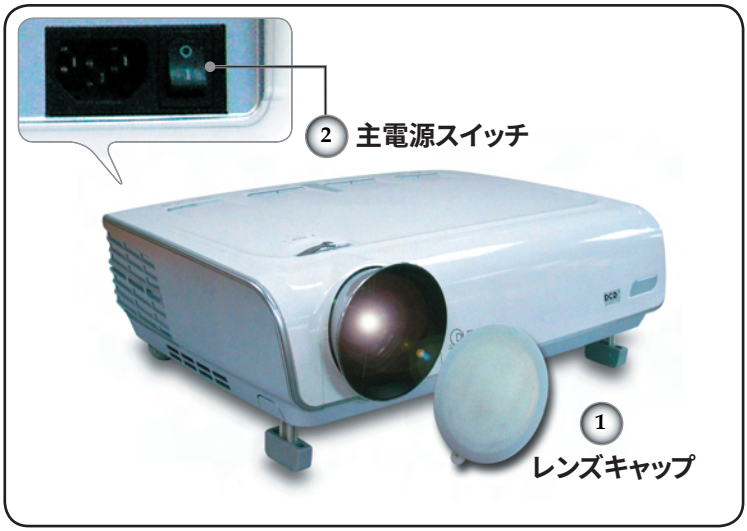
1. レンズキャップを取り外してください。❶
2. 電源コードと信号ケーブルがしっかり接続されているか確認し、主電源スイッチを入れます。プロジェクタ背面のボタンがオンになっているか確認します。❷ 電源LEDが緑で点滅します。
3. プロジェクタまたはリモコン上部にある“スタンバイ/電源”ボタンを押して、ランプをオンにします。電源LEDが緑で点灯します。

   起動画面が約30秒間表示されます。初めてプロジェクタを使用する場合、起動画面が表示された後、クイックメニューから優先言語を選択することができます。
4. ご利用のソース（コンピュータ、ノートブック、ビデオプレーヤー等…）の電源を入れてください。プロジェクタがソースを自動検出します。

❖ 複数のソースが同時に接続されている場合は、コントロールパネルの“ソース”ボタン、またはリモコンのダイレクトソースキーで信号源を切り換えてください。

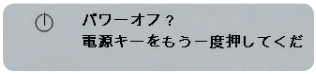
NOTE

❖初めてプロジェクタの電源を入れて、信号ソースを選択します。



プロジェクタの電源をオフにする

1. 「スタンバイ/電源」ボタンを押してプロジェクタランプをオフにすると、プロジェクタの画面にメッセージが表示されます。



「スタンバイ/電源」ボタンをもう一度押すと確認されます。押さない場合、5秒後にメッセージは消えます。

2. 冷却ファンが30秒間作動し続けて冷却サイクルを実行すると、電源LEDが緑で点灯します。 電源LEDが点滅を始めると、プロジェクタはスタンバイモードに入っています。

   プロジェクタを再びオンにしたい場合、プロジェクタが冷却サイクルを完了し、スタンバイモードに入るまで待たなければなりません。スタンバイモードに戻ったら、“スタンバイ/電源”ボタンを押してプロジェクタを再起動してください。
3. 電源コンセントとプロジェクタから電源コードを抜きます。
4. 電源オフをした後すぐにプロジェクタの電源をオンにしないでください。

警告インジケータ

- 「ランプ」インジケータが赤い色で点灯すると、プロジェクタは自動的に遮断します。お近くの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

- 「温度」インジケータが点灯すると、プロジェクタが過熱していることを示し、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。
  通常の状態では、プロジェクタは冷却サイクルを完了してから、再度電源入れて使用することができますが、問題が解決されない場合は、お近くの販売店またはサービスセンターにご相談ください。

- 「温度」インジケータが点滅すると、ファンエラーが生じています。 お近くの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

投影された映像の調整

プロジェクタの高さを調整するには

**プロジェクタには、画像の高さを調整するための
エレベーターフットが付いています。**

プロジェクタを高くする:

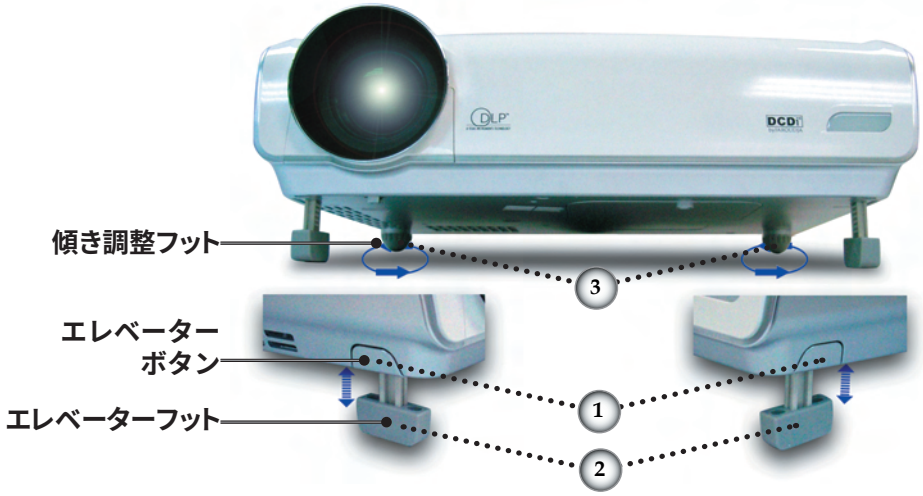
1. **エレベーターボタンを押してください ❶。**
2. **画像を好みの表示角度まで上げ ❷、ボタンを放してエレベーターフットを固定してください。**
3. **フットのネジを使って ❸、表示角度を微調整します。**

プロジェクタを低くする:

1. **エレベーターボタンを押してください。**
2. **画像を下げ、ボタンを放してエレベーターフットを固定してください。**
3. **フットのネジを使って ❸、表示角度を微調整します。**

NOTE

❖投影後の調整は前面の排気口に注意して下さい。やけどの恐れがあります。



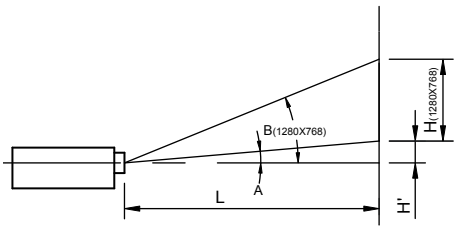
インストール

プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する

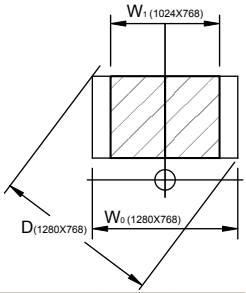
ズームレバーを使い、ズームレンズを左右に動かします。画像をフォーカスするには、フォーカスリングを回し、鮮やかな映像になるようフォーカスを調整します。プロジェクタは1.5m～12.0mの距離でフォーカスが合います。また、投射画面サイズは、16：10モードで0.92m～8.857m（36インチ～349インチ）です。

画面サイズと投射距離の目安

サイドからの図



正面からの図



投影比率(TR) = ワイドモードで1.26

A=6.52 °　B (1280x768)=25.54 °　W_0 (1280x768)=L/R

H'=L X tan(A)　W_1 (1024x768)=W_0 (1280x768) X 0.8

H (1280x768)=W_0 (1280x768) X 0.86　H (1024x768)=W_1 (1024x768) X 0.75

ディスプレイフォーマット	A	B	L (cm)	W (cm)	H (cm)	H' (cm)	D (cm)	D' (in)
16:10 (1280x768)	6.52	25.54	256	130.68	78.41	29.01	152.40	60.00
4:3 (1024x768)	6.52	25.54	256	104.52	78.41	29.01	130.66	51.44
投射距離 (メートル)		2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	5.0	6.0
画面サイズ16:10 (インチ)	Max	58.8	73.5	88.2	102.8	117.5	146.9	176.3
	Min	48.9	61.1	73.3	85.5	97.7	122.2	146.6
画面サイズ4:3 (インチ)	Max	47.02	55.77	70.53	82.28	94.04	117.55	141.06
	Min	39.48	49.35	59.21	69.08	78.95	98.69	118.43

NOTE

❖ 1フィート＝0.3m、1インチ＝2.54ｃｍ

ユーザーコントロール

コントロールパネル＆リモートコントロール

機能を調整する方法は：コントロールパネルとリモートコントロールの2通りがあります。

コントロールパネル　リモートコントロール

コントロールパネルを使うには	
Source (ソース)	“ソース”を押してDVI（DVI-A）を通じてアナログを選択するか、またはDVI（DVI-D）、RGB、コンポーネント-p、コンポーネント-I、S-ビデオ、コンポジットビデオ、HDTVおよびHDMIソースを通じてデジタルを選択します。
Menu (メニュー)	“メニュー”ボタンを押すとオンスクリーン・ディスプレイ（OSD）メニューを開きます。OSDを終了するには、もう一度“メニュー”ボタンを押してください。
Four Directional Select Keys (4方向選択キー)	▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを押して、アイテムの選択や選択内容の調整をします。
Select (選択)	アイテムの選択内容を確定します。
Re-Sync (リシンク)	自動的にプロジェクタの入力ソースを選びます。

ユーザーコントロール

リモートコントロールを使うには	
Power (電源)	17～18ページの“プロジェクタの電源オン/オフ”の項をご参照ください。
Brightness (輝度)	イメージの輝度を調整します。
Contrast (コントラスト)	コントラストは、画像の明るい部分と暗い部分の差異を調整します。
Image Shift (イメージシフト)	投射した画像の位置を水平に移動します。
H. Keystone (水平キーストン) ◀/▶	画像のゆがみを水平に調整し、四角形の画像を作ります。
V. Keystone (垂直キーストン) ▼/▲	画像のゆがみを垂直に調整し、四角形の画像を作ります。
Zoom (ズーム)	“ズーム”ボタンを押して、画像をズームイン/ズームアウトします。
Display Mode (画面モード)	“シネマ”、“ブライト”、“TV”、“sRGB”および“User”の中から画面モードを選択します。
Menu (メニュー)	“メニュー”ボタンを押すとオンスクリーン・ディスプレイ（OSD）メニューを開きます。OSDを終了するには、もう一度“メニュー”ボタンを押してください。
Four Directional Select Keys (4方向選択キー)	▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを押して、アイテムの選択や選択内容の調整をします。
Select (Enter) (選択)	項目の選択を確認します。
Overscan (エッジマスク)	表示する画像のそれぞれのエッジの数ピクセルをマスキングします。表示画像のエッジ近くにノイズができたときに、この機能を使って調整します。
4:3	4:3アスペクト比で画像を拡大縮小します。
16:9	16:9アスペクト比で画像を拡大縮小します。

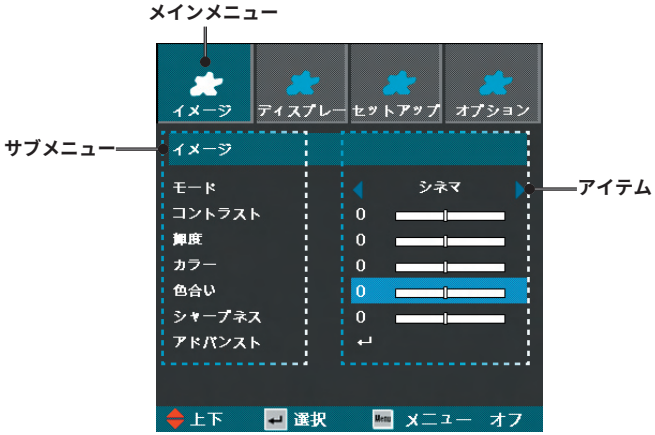
Native	入力ソースは、拡大縮小されずに表示されます。
Letter-Box	このフォーマットは、非16：9ソース、Letter Boxソースと外部16：9レンズを使用する時に対応します。また、外部16：9レンズを使用する時に、このフォーマットはDMDチップのフル解像度を使って、2.35：1アスペクト比を表示することが出来ます。
DVI-D	“DVI-D”を押して、DVI-Iコネクタからのデジタル信号ソースを選択します。
DVI-A	“DVI-A”を押して、DVI-Iコネクタからのアナログ信号ソースを選択します。
HDMI	“HDMI”を押して、HDMIコネクタからのソースを選択します。
YPbPr	“YPbPr”を押して、コンポーネントビデオソースを選択します。
Video	“Video”を押して、コンポジットビデオソースを選択します。
S-Video	“S-Video”を押して、S-ビデオソースを選択します。

オンスクリーン・ディスプレイメニュー

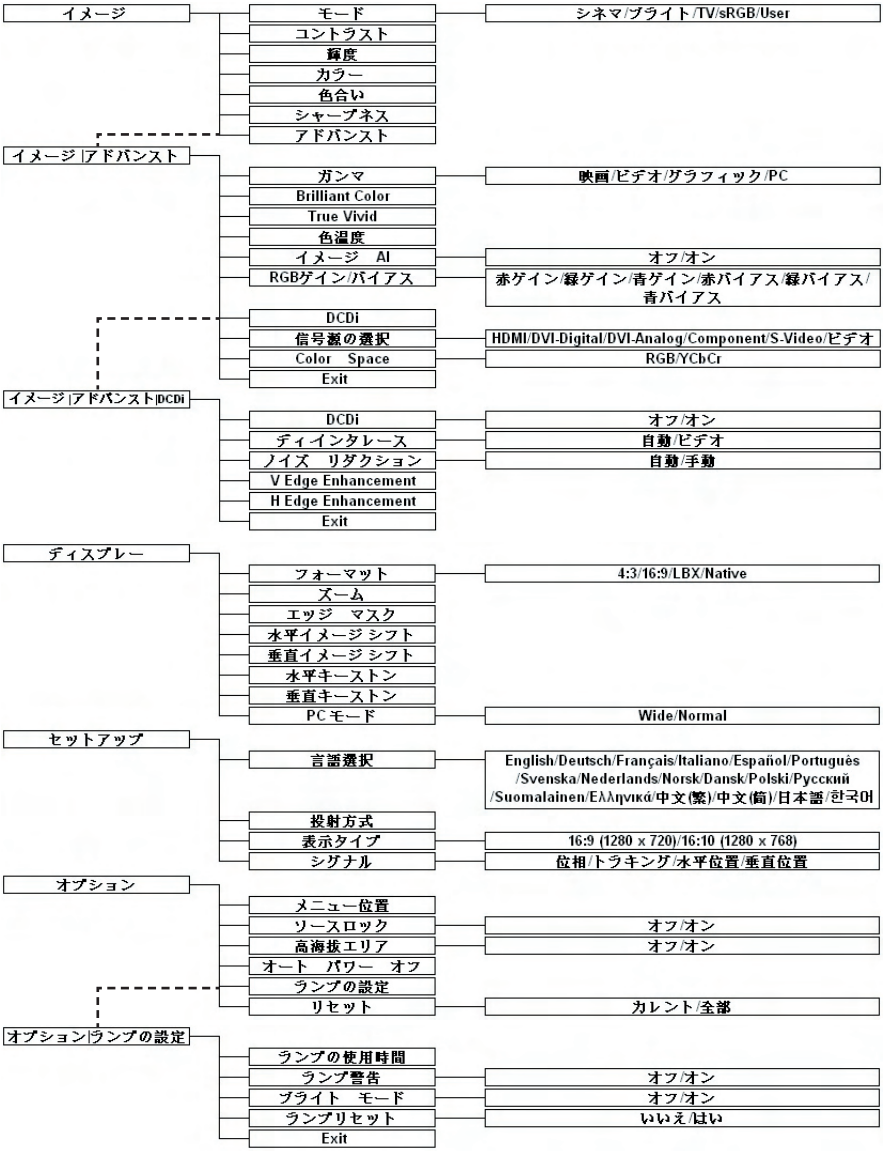
プロジェクタには、多言語オンスクリーン・ディスプレイ（OSD）メニューが装備されており、映像調整や様々な設定が可能になっています。

操作方法

1. OSDメニューを開くには、リモコンの「Menu」またはコントロールパネルの「メニュー」を押します。
2. OSDが表示されたら、◀▶キーを押してメインの項目を選択します。特定のページで選択を行う際、「選択（Enter）」キーまたは▼を押すとサブメニューに入ります。
3. 指定項目 （サブメニュー）を選択する際は▲ ▼ボタンを押して選択し、◀▶ボタンでアイテムの選択もしくは、設定を調整します。
4. サブメニューで調整する次の項目を選択し、上で述べたように調整してください。
5. 「選択（Enter）」を押して確認し、スクリーンをメインメニューに戻します。
6. 終了するには「メニュー」をもう一度押します。OSDメニューが閉じ、プロジェクターの新しい設定が自動的に保存されます。



メニューツリー


イメージ
モード
シネマ/ブライト/TV/sRGB/User
コントラスト
輝度
カラー
色合い
シャープネス
アドバンスト
イメージ|アドバンスト
ガンマ
映画/ビデオ/グラフィック/PC
Brilliant Color
True Vivid
色温度
イメージ AI
オフ/オン
RGBゲイン/バイアス
赤ゲイン/緑ゲイン/青ゲイン/赤バイアス/緑バイアス/青バイアス
DCDi
信号源の選択
HDMI/DVI-Digital/DVI-Analog/Component/S-Video/ビデオ
Color Space
RGB/YCbCr
Exit
イメージ|アドバンスト|DCDi
DCDi
オフ/オン
ディインタレース
自動/ビデオ
ノイズ リダクション
自動/手動
V Edge Enhancement
H Edge Enhancement
Exit
ディスプレー
フォーマット
4:3/16:9/LBX/Native
ズーム
エッジ マスク
水平イメージ シフト
垂直イメージ シフト
水平キーストン
垂直キーストン
PC モード
Wide/Normal
セットアップ
言語選択
English/Deutsch/Français/Italiano/Español/Português/Svenska/Nederlands/Norsk/Dansk/Polski/Русский/Suomalainen/Ελληνικά/中文(繁)/中文(簡)/日本語/한국어
投射方式
表示タイプ
16:9 (1280 x 720)/16:10 (1280 x 768)
シグナル
位相/トラキング/水平位置/垂直位置
オプション
メニュー位置
ソースロック
オフ/オン
高海抜エリア
オフ/オン
オート パワー オフ
ランプの設定
リセット
カレント/全部
オプション|ランプの設定
ランプの使用時間
ランプ警告
オフ/オン
ブライト モード
オフ/オン
ランプリセット
いいえ/はい
Exit

ユーザーコントロール

イメージ

モード

さまざまな画像のタイプに最適化されましたモードが工場出荷時に設定されています。

- シネマ：ホームシアター用。
- ブライト
- TV
- sRGB：標準カラー用。
- User：ユーザーの設定を記憶します。

コントラスト

コントラストは、画像の明るい部分と暗い部分の差異を調整します。コントラストを調整すると、画像の白黒要素が変化します。

- ◀を押すとコントラスト値が減少します。
- ▶を押すとコントラスト値が増加します。

輝度

イメージの明るさを調整します。

- ◀を押すとイメージが暗くなります。
- ▶を押すとイメージが明るくなります。

カラー

カラー設定では、ビデオ映像を白黒から彩度のあるフルカラーへ調整します。

- ◀を押すとビデオ映像の彩度が減少します。
- ▶を押すとビデオ映像の彩度が増加します。

色合い

色合いは赤と緑のカラーバランスを調整します。

- ◀を押すとイメージの緑色の比率が増加します。
- ▶を押すとイメージの赤色の比率が増加します。

シャープネス

映像の鮮明度を調整します。

- ◀を押すと鮮明度が下がります。
- ▶を押すと鮮明度が上がります。

ユーザーコントロール

イメージ | アドバンスト

ガンマ

デガンマテーブルを選択し、入力用の映像品質を最高の状態に調整します。

- 映画：ホームシアター用。
- ビデオ：ビデオまたはテレビソース用。
- グラフィック：画像ソース用。
- PC：パソコンまたはコンピュータソース用。

Brilliant Color

この調整可能なアイテムでは、新しいカラー処理アルゴリズムとシステムレベルの拡張機能を採用して、写真のより鮮やかな真の色を実現しながら、明るさを高めます。範囲は“0”から“10”です。強力な映像を希望する場合、最大の設定に調整してください。スムーズでより自然な映像には、最低の設定に調整してください。

True Vivid

この調整可能なアイテムでは、新しいカラー処理アルゴリズムと拡張機能を採用して、写真の鮮明さを飛躍的に高めます。範囲は“0”から“3”です。

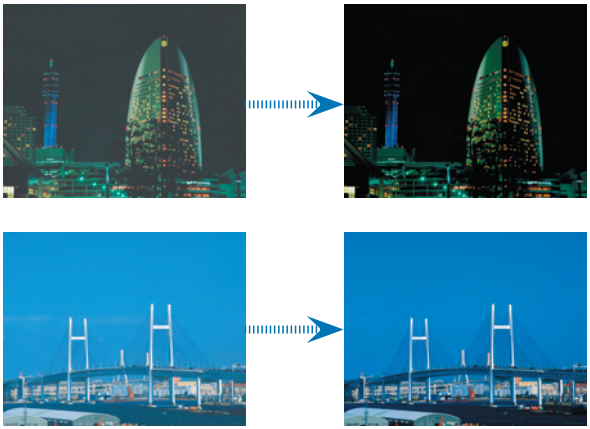
色温度

カラー温度を調整します。範囲は“0”から“2”です。より高い温度設定では、画面は寒色が強くなります。低い温度設定では、画面は暖色が強くなります。

イメージAI

イメージAIでは、画像の内容に応じてランプの明るさを最適化することで画像のコントラストを改善します。

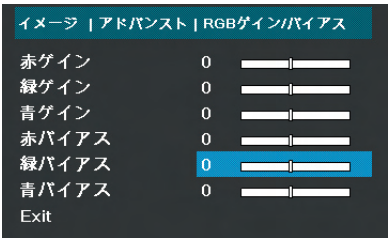
- オン：ダイナミック映像機能により、映画を鮮明な映像でお楽しみいただけ ます。



- オフ：ダイナミックイメージパソ-マンスマネージャはスタンバイになっています。

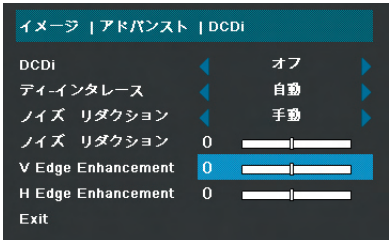
RGBゲイン/バイアス

◀または▶を押して次のメニューに入り、▲または▼を使ってアイテムを選択します。◀または▶を使って赤、緑または青のコントラスト（ゲイン）と明るさ（バイアス）を選択します。



DCDi®

DCDi®は、FaroudjaのDirectional Correlation De-Interlacingの略です。DCDi®処理の目的は、標準のインタレースした動画をこのプロジェクタで表示するときに現れる角のあるエッジを取り除くことです。Faroudja DCDi® 技術は、クロスカラーを改善し、角のあるエッジを取り除くことで、卓越した画像品質の映画のようなイメージの投射を実現します。



- オン：入力ソースをインタレースした時に、DCDi®により滑らかで鮮明な画像を提供します。
- オフ：この機能を無効にします。

ディ インタレース

この機能では、インタレースのビデオ信号をプログレッシブ信号に変換します。

- 自動：ディ インタレースモードに自動的に切り替えます。
- ビデオ：ビデオソースまたはテレビソース用に、ディ インタレースモードをビデオモードに切り替えます。

ノイズ リダクション

モーションAdaptive Noise Reductionは、インタレースした動画の品質を飛躍的に改善します。DCDi®ノイズ リダクション設定は、ノイズの低減量を調整し、3-2プルダウンディ-インタレース処理を行って映画のような動画品質を実現します。

- 自動：ノイズを自動的に検出して調整します。
- 手動：範囲は“-50”から“50”です。

V Edge Enhancement

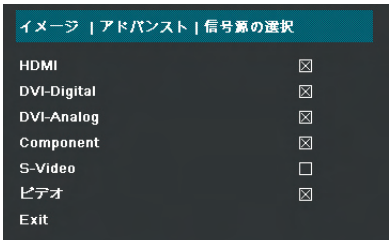
画像の垂直Edge Enhancementを調整します。範囲は“-50”から“50”です。

H Edge Enhancement

画像の水平Edge Enhancementを調整します。範囲は“-50”から“50”です。

信号源の選択

信号源の選択を有効にします。◀または▶を押して次のメニューに入り、▲または▼を使って選択します。「選択（Enter）」を押して選択内容を確定します。プロジェクタでは、選択されていない入力ソースを検索しません。



Color Space

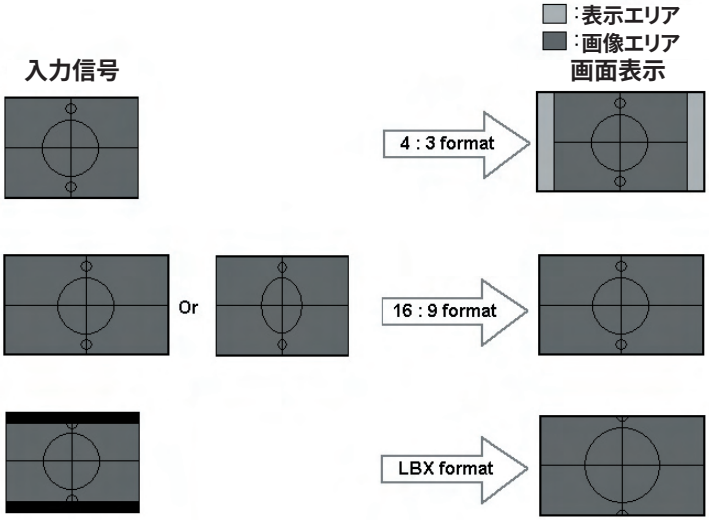
RGBまたはYPbPrから、適切なカラーマトリックスを選択します。

ディスプレー

フォーマット

この機能を使って、目的のアスペクト比を選択します。

- 4:3：このフォーマットは、ワイド画面テレビ向けに拡張されていない4x3入力ソース用です。
- 16:9：このフォーマットは、ワイド画面テレビ向けに拡張されているHDTVやDVDなどの16x9入力ソース用です。
- Native：このフォーマットでは、スケーリングせずに元画像を表示します。
- LBX：このフォーマットは、非16:9ソース、Letter Boxソースと外部16:9レンズを使用する時に対応します。また、外部16:9レンズを使用する時に、このフォーマットはDMDチップのフル解像度を使って、2.35:1アスペクト比を表示することが出来ます。



LBXモードに関する詳細情報:

1. 一部のLetter-Box DVDコンテンツは、16x9 テレビ用に拡張されていないため、画像は16:9表示のように映りません。
   4:3モードを使って適切な情報を表示することができます。
   しかし、コンテンツ自体が4:3の場合、16:9ディスプレーで画像の周りに黒いバーが表示されます。このようなコンテンツでは、LBXモードを使って可能な限り16x9ディスプレーで画像を表示することができます。
2. 外部16x9レンズを使用している場合、このLBXモードを使うと、ワイド2.35:1画像の16x9ディスプレーに対して対応アナモルフィックワイドが拡張されている、2.35:1コンテンツ（アナモルフィックDVDおよびHDTVフィルムソースを含む）を見ることもできます。
   この場合、黒のバーはなく、最大の表示効果に対してフルランプ電源および垂直解像度が完全に使用されています。
   その他の場合、ほとんどの表示に対して16:9および4:3モードを使用する必要があります。

ズーム

- ◀を押して画像のサイズを小さくします。
- ▶を押して画像のサイスを小さくします。

エッジマスク

エッジマスク機能では、動画画像のノイズを除去します。画像のエッジマスクによって、動画ソースのエッジの動画エンコードノイズを削減します。

水平イメージシフト

投射した画像の位置を水平に移動します。

垂直イメージシフト

投射した画像の位置を垂直に移動します。

水平キーストン

◀または▶を押して、画像のゆがみを水平に調整し四角形の画像を作ります。

垂直キーストン

◀または▶を押して、画像のゆがみを垂直に調整し四角形の画像を作ります。

ユーザーコントロール

PCモード

このモードは、DVI-Iコネクタを通じたアナログまたはデジタルPC信号をを使用するときのみ使います。

- Wide：PC出力がワイド画面解像度の場合、この設定を選択する必要があります。

  ワイド画面解像度の例：720 x 400/854 x 480

  1280 x 720/1280 x 768/1920 x 1080.

- Normal：PC出力が標準（4:3）解像度の場合、この設定を選択する必要があります。

  標準解像度の例： 640 x 480/800 x 600/1024 x 768/
  1152 x 870 (* MAC用)/1280 x 1024/1400 x 1050

*サポートされているすべての解像度については、49ページの一覧を参照してください。

❖「PCモード」機能はDVI-I コネクタを経由したRGB ソースの元でのみサポートされます。

セットアップ

言語

OSDは多言語で表示することができます。◀または▶を押してサブメニューに入り、▲ または ▼ キーを使って好みの言語を選択します。「選択(Enter)」を押して選択内容を確定します。

投射方式

- フロント

  工場出荷時の初期設定。

- フロント－天井

  この機能を選択すると、プロジェクタは映像の上下を逆にすることができるため、プロジェクタを天井に取り付けることができるようになります。

- リア

  この機能を選択すると、プロジェクタは反転した映像に表示することができるため、半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。

- リア－天井

  この機能を選択すると、プロジェクタは反転した映像に表示し、更に上下を逆にすることができます。天井に取り付けたプロジェクタで半透明スクリーンを使用し、リア投影できます。

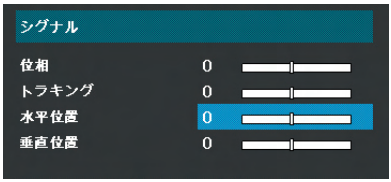
表示タイプ

表示タイプを16:9(1280x720)または16:10(1280x768)から選択します。

ユーザーコントロール

シグナル

- 位相：お使いのコンピュータのグラフィックカードの周波数に合わせて、表示データの周波数を変更します。縦線のちらつきがある場合は、この機能を使って調整してください。
- トラキング：ディスプレーの信号タイミングをグラフィックカードに同期させます。画像が不安定またはちらつく場合にも、トラッキング機能を使って修正します。
- 水平位置：水平位置を調整します。
- 垂直位置：垂直位置を調整します。



オプション

メニュー位置

メニューの位置をディスプレイの画面上で選択します。

ソースロック

この機能がオフの場合、現在の入力信号を失なうと、プロジェクタが他の信号を探します。この機能をオンにすると、特定の接続ポートを検索します。

高海抜エリア

プロジェクタを高海抜エリアで使用する場合、機械を冷却するために高海抜項目で"オン"を選んでください。

オートパワーオフ（分）

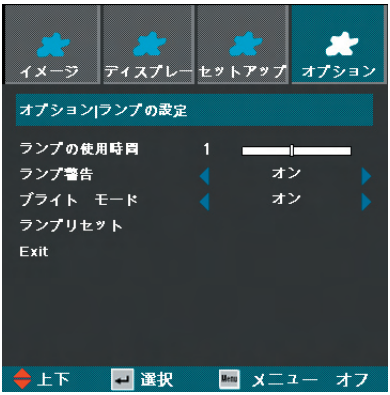
信号入力がないときのシステムのパワーオフの間隔を設定します。（分）

リセット

調整および設定を出荷時のデフォルト値に戻します。

- カレント：現在のメニュー設定を出荷時のデフォルト値に戻します。
- 全部：すべてのメニュー設定を出荷時のデフォルト値に戻します。

オプション | ランプの設定



ランプの使用時間

ランプの累積動作時間が表示されます。

ランプ警告

“ランプの交換”時における警告メッセージの表示／非表示を切り換えるには、この機能を選択します。ランプの寿命が切れる30時間前にメッセージが表示されます。

ブライトモード

「オン」を選択すると輝度が高くなります。「オフ」を選択すると標準モードに戻ります。

ランプリセット

ランプを交換した後にランプの寿命をリセットします。

トラブルシューティング

プロジェクタに問題が発生すれば、次の情報を参照してください。 それでも、問題が解決しない場合は、お買い求めになった販売店、またはサービスセンターへお問い合わせください。

映像に関する問題

? 画面に何も表示されない

- すべてのケーブルと電源コードが、”インストール”の項で説明されているように正しくしっかりと接続されているか確認してください。
- コネクタのピンが曲がっている、または壊れていないか確認してください。
- プロジェクションランプがしっかりと装着されているか確認してください。詳しくは、“ランプの交換”のページ項をご覧ください。
- レンズキャップが取り外されているか、プロジェクタの電源がオンになっているか確認してください。

? イメージが一部しか表示されない、スクロールしてしまう、正しく表示されないなど

- リモコンまたはコントロールパネルの「Re-Sync」（リシンク）を押します。
- PCをご使用の場合:

  Windows 95,98,2000,XPの場合:

  1. 「マイコンピュータ」アイコンから、「コントロールパネル」フォルダを開き、「画面」アイコンをダブルクリックします。
  2. 「設定」タブを選択してください。
  3. ディスプレーの解像度設定がSXGA+（1400x1050）相当またはそれ以下であるか確認してください。(*)
  4. 「詳細」ボタンをクリックします。

  プロジェクタがまだイメージ全体を投射できない場合は、ご使用になっているモニターの表示を変更する必要があります。以下の手順をご参照ください。

  5. 解像度設定がSXGA+（1400x1050）相当またはそれ以下であるか確認してください。

NOTE

❖ (*) コンピュータ信号には解像度WXGA（1280x768）を推奨します。

6. 詳細タブを押す。“モニター”タブで“変更”ボタンを選択してください。
7. 「デバイスをすべて表示」をクリックします。” 次にSPボックスの「標準モニタータイプ」を選択し、「モデル」ボックスで解像度モードを選びます。
8. ディスプレーの解像度設定がSXGA+（1400x1050）相当またはそれ以下であるか確認してください。(*)

- ノートブックPCをご使用の場合：

1. 上記のステップに従い、コンピュータの解像度を調整してください。
2. 切り替え出力設定を押します:[Fn]+[F4]など

Compaq=>	[Fn]+[F4]	Packard Hewlett =>	[Fn]+[F4]
Dell =>	[Fn]+[F8]		
Gateway=>	[Fn]+[F4]	NEC=>	[Fn]+[F3]
IBM=>	[Fn]+[F7]	Toshiba =>	[Fn]+[F5]

Mac Appleをご使用の場合:
システム環境設定 --> 表示 --> 配置 --> ミラー表示

- 解像度を変更するのが困難な場合、あるいはモニターがフリーズする場合には、プロジェクタを含めてすべての装置を再起動してください。

? ノートブックまたはApple PowerBookコンピュータの画面が写らない

- ノートブックPCをご使用の場合：

ノートブックPCの中には、外部映像出力使用した場合、PC本体の映像表示が無効になってしまうものがあります。PC本体の映像表示をする方法は各種類によって異なります。詳細は、ご使用になっているコンピュータの添付資料をご覧ください。

? 画像が不安定、またはちらつく

- “トラッキング”を使って修正してください。 詳細は40ページを参照してください。
- お使いのコンピュータ モニターのカラー設定を変更してください。

? イメージに縦のちらつき線がある

- 「位相」を使って調整を加えます。詳細は40ページを参照してください。
- グラフィックカードのディスプレイモードを設定しなおし、互換性を改善してください。

NOTE

❖ (*)解像度: 本プロジェクタには解像度WXGA（1280x768）を推奨します。

? 映像のフォーカスが合っていない

- レンズキャップが取り外されているか確認してください。
- プロジェクタレンズのフォーカスリングを調整してください。
- プロジェクション画面がプロジェクタから1.5m～12.0mの距離にあるか確認してください。24ページを参照してください。

? 16:9再生時、画像が伸びる

アナモルフィックDVDまたは16：9DVDの再生時、プロジェクタはプロジェクタ側で16:9フォーマットの最適な画像を表示します。
LBXフォーマットのDVDを再生する場合、プロジェクタのOSDでフォーマットをLBXに変更します。
4:3フォーマットのDVDを再生する場合、プロジェクタのOSDでフォーマットを4：3に変更します。
それでも画像が伸びてしまう場合、以下を参照してアスペクト比を調整する必要があります。

- DVDプレーヤーで、表示フォーマットを16:9（ワイド）アスペクト比タイプに設定してください。

? 映像が小さすぎるか大きすぎる

- プロジェクタの上にあるズームレバーを調整します。
- プロジェクタをスクリーンに近づけるか、スクリーンから遠ざけます。
- リモコンの[4:3]、[16:9]、[Letter Box]、[Native]ボタン、またはプロジェクタパネルの[プロジェクタメニュー]を押して、“表示 -->フォーマット”に移動します。他の設定を試してください。

? 映像の端が斜めになる

- 画面の中央で、かつ画面の下にくるようにプロジェクタを移動します。
- 両端が垂直になるまで、リモートパネルで[キーストーン+/-]を押します。

※キーストンの使用はお勧めしません。

? 画像が逆になっている。

- OSDから“設定 --> 投射方式”を選択し、投射方式を調整します。

中断に関する問題

? プロジェクタが操作すべてに対応しない

- プロジェクタの電源を切り、電源コードを一度抜いて20秒以上たってから再度差し込んでください。

? ランプが切れ大きな音がする

- ランプが寿命に達した場合、ランプが消えて大きな音がする場合があります。これが発生したら、ランプモジュールを交換するまで、プロジェクタが機能しません。ランプを交換するには、48ページの「ランプを交換する」セクションの手続きに従ってください。

LEDに関する問題

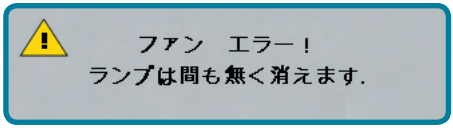
? LED照明メッセージ。

メッセージ	スタンバイ/オンLED (緑)	温度 LED	ランプ LED
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点滅	○	○
電源オン (警告)	☼	○	○
ランプ照明	☼	○	○
電源オフ (冷却)	☼	○	○
エラー (ランプエラー)	☼	○	☼
エラー (ファンエラー)	☼	点滅	○
エラー (過熱)	☼	☼	○

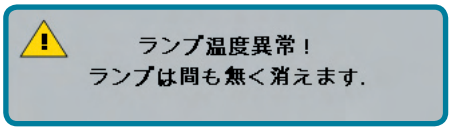
ライトオン => ☼
ライトオフ => ○

? メッセージ喚起

- ファンエラー:



- ランプ温度異常:



- 過熱警告:

プロジェクタが過熱の状態
です,ランプは間も無く消えます.

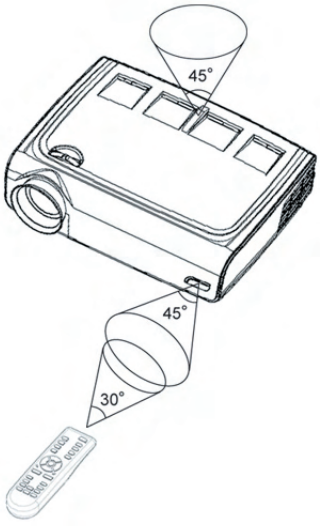
- ランプの交換:

ランプの寿命は近づいてます,
ランプを交換してください

リモートコントロールに関する問題

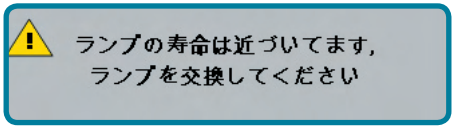
? リモコンがコントロールできません

- リモコンの作動角度が約±22.5 °かを確認してください。
- リモコンとプロジェクタの間に障害物がないかを確認してください。
まだリモコンとプロジェクタの距離を6M (20 FET)以内にしてください。
- 電池が正しくセットされていることを確認してください。
- 電池が消耗しているか確認してください。消耗している場合、リモートコントロール内の電池を交換してください。



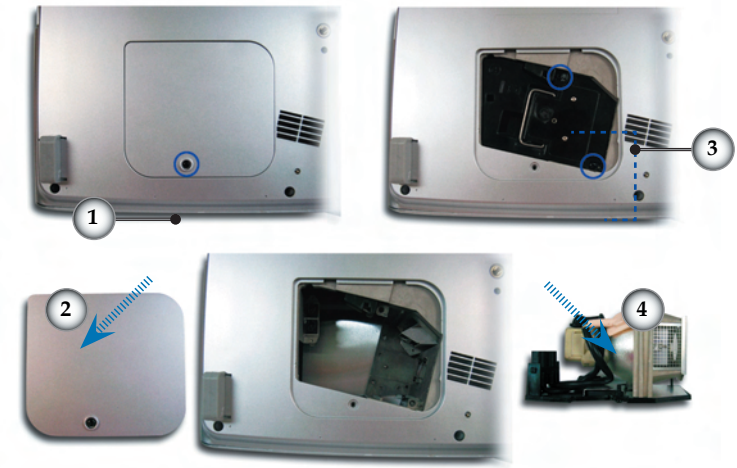
ランプの交換

プロジェクタでは、自動的にランプの寿命を検知します。ランプが寿命に近づくと警告メッセージが表示されます。



⚠警告:ランプ部は熱くなっています!熱が冷めてからランプを交換してください!

このメッセージが表示されたら、お近くの販売店やサービスセンターに連絡し、すぐにランプを交換してください。少なくともランプを交換する1時間前に、プロジェクタの余熱が冷めていることを確認してください。



⚠警告:人体に害を及ぼす危険がありますので、ランプモデュールを落としたり、ランプの電球に触れたりしないでください。電球が落ちると、破片が飛び、ケガをする恐れがあります。交換する時は素手で作業しないで下さい。

ランプ交換の手順:

1. 「電源」ボタンを押して、プロジェクタの電源を切ります。
2. 少なくとも1時間は放置してプロジェクタの余熱を冷ましてください。
3. 電源コードを取り外してください。
4. ドライバーを使って、カバーからネジを外してください。❶
5. カバーを押し上げて取り外します。❷
6. ランプモジュールからネジ 2 本を外してください。❸
7. ランプモジュールを引き出します。❹

ランプモデュールを取り付ける際は、以上のステップを逆から行ってください。

8. ランプモジュールを交換したら、プロジェクタの電源を入れて「ランプリセット」を行います。
   ランプリセット: (i)「メニュー」を押す -> (ii)「オプション」を選択する -> (iii)「ランプの設定」を選択する -> (iv)「ランプリセット」を選択する -> (v)「はい」を選択する。

互換モード

モード	解像度	垂直周波数 (Hz)
VESA VGA	640 x 480	60,72,75,85
VESA VGA	848 x 480	60,75,85
VESA VGA	720 x 400	70,85
VESA SVGA	800 x 600	56,60,72,75,85
VESA XGA	1024 x 768	50,60,70,75,85
VESA WXGA	1280 x 768	50,60,70,72,75,85
HD	1280 x 720	50,60,72
* HD	1920 x 1080	50,60,72
* SXGA	1280 x 1024	50,60,70,72,75,85
* SXGA+	1400 x 1050	50,60,70,72,75
* MAC	1152 x 870	75.06
MAC G4	640 x 480	60
i MAC DV	1024 x 768	75

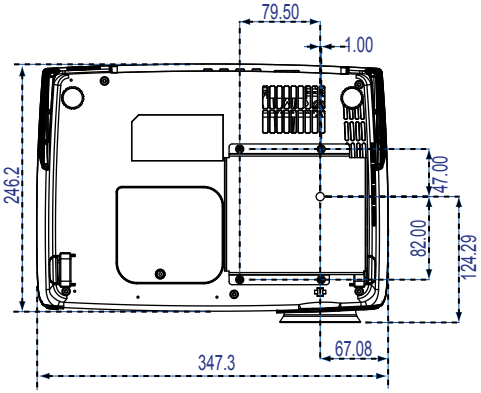
注: “*” コンピュータの圧縮画像。

天井への取り付け

1. プロジェクタの破損を避けるため、設置には天井設置パッケージを使ってください。
2. サードパーティの天井設置キットを使いたい場合は、プロジェクタの取り付けに使用するネジが次の仕様に合っているかを確認してください。
   - ネジの種類: M3
   - ネジの最大長: 10mm
   - ネジの最小長: 7.5mm

NOTE

不適切な設置による破損は保証の対象になりません。



NOTE

警告:

1. 他社から天井設置キットを購入した場合、プロジェクタの下カバーと天井の間に10cm以上の間隔があることを確認してください。
2. プロジェクタをエアコンやヒーターなどの熱源の近くに置かないでください。過熱が生じ、自動的に電源が落ちることがあります。